

Silk Performer 9.5

SOA Edition リリース
ノート

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © 2012 Micro Focus. All rights reserved. Silk Performer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2012 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2012-11-20

目次

Silk Performer 9.5 リリース ノート	4
システム要件	5
インストール	7
Silk Performer 9.5 の新機能	8
Windows 8 および Internet Explorer 10 のサポート	8
IPv6 のサポート	8
GraniteDS のサポート	8
ワークフローの改善	8
カスタム コンテンツ タイプおよびエンコーディングの変換	9
正確なパーセントイル計算	10
ユーザビリティ機能の強化	10
使用技術の更新	11
Silk Performer の既知の問題	12
Silk Performer に関する一般的な問題	12
Eclipse Plug-In が Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上で機能しな	12
TrueLog Explorer の問題	13
Web の問題	13
解決済みの問題	15
更新と SupportLine	16
Micro Focus へのお問い合わせ	16
Micro Focus SupportLine で必要な情報	16
Silk Performer のライセンス管理	17
テスト済みソフトウェア	18
サポートの終了	20

Silk Performer 9.5 リリース ノート

これらのリリース ノートでは、ヘルプには表示されない場合もある情報について説明します。製品をインストールする前に、これらのリリース ノート全体をお読みください。



注: このドキュメントには、外部の Web サイトへのリンクが多く記載されています。Micro Focus は、これらの Web サイトのコンテンツまたはそのサイトがリンクするいかなるサイトのコンテンツについて、責任を負うものではありません。当社では、リンクを常に最新状態に維持することを試みっていますが、Web サイトはその性質上、急に変更されることがあります。このため、当社は、Web サイトの予期したとおりの動作を常に保証するものではありません。

システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。

表 1：負荷テスト

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	512 MB 推奨 (最小) 1 GB 推奨
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハード ディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 650 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を備えた Windows ネットワーク (リモート Silk Performer エージェント コンピュータを利用する場合)
ネットワーク アダプタ	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

Silk Performer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用するには、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

表 2：記録、スクリプティング、監視

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	256 MB
ハード ディスク領域	440 MB
ネットワーク	TCP/IP

ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールして実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、システムに Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のい

ずれかがインストールされていなければなりません。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Windows Internet Explorer 7.0、8.0、9.0 (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp Client 11.x、12.x または Citrix Receiver 3.x
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7

インストール

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[Silk Performer インストールヘルプ](#)』を参照してください。

Silk Performer 9.5 の新機能

Silk Performer 9.5 では、重要な機能強化と変更がされました。

Windows 8 および Internet Explorer 10 のサポート

Silk Performer は、Internet Explorer 10 を使用した Windows 8 および Windows Server 2012 での Web アプリケーションの記録と再生 (プロトコルレベル) をサポートしています。



注: ブラウザ駆動型テストは、Internet Explorer 10 をサポートしていません。

IPv6 のサポート

Silk Performer で、IPv6 (インターネット プロトコルバージョン 6) ネットワークでのアプリケーションの記録と中継がサポートされました。

GraniteDS のサポート

Silk Performer では、GraniteDS の実装に基づいた Flex アプリケーションおよび AMF3 プロトコルのテストがサポートされるようになりました。

GraniteDS の実装に基づいた Flex/AMF3 アプリケーションのテストを行う場合は、**プロジェクトの概要設定** ダイアログで Flex/AMF3 (GraniteDS) アプリケーション タイプを選択します。

Flex/AMF3 (GraniteDS) のアプリケーションの種類は AMF0 と AMF3 の両方をサポートしています。アプリケーションの種類で Flex/AMF3 (GraniteDS) を選択すると、**プロファイル > Web (プロトコルレベル) 設定 > 変換** タブでいくつかのプロファイル設定が自動的に構成されます。

- **タイプ** ドロップ リストで Flex/AMF3 (GraniteDS) 変換 DLL が選択されます。
- HTTP リクエストを変換する が有効化されます。
- HTTP レスポンスを変換する が有効化されます。
- Java 仮想マシンの使用を有効にする が有効化されます。外部化可能な特性を Flex/AMF3 で正確に変換するには JVM が動作してる必要があるため、この設定は必要です。また、この設定をすることで、変換後の AMF3 トラフィックを、AMF3 の構文タグをあまり含まない読みやすい XML 表現で表示することが可能になります。

GraniteDS の実装に基づいた Flex/AMF3 アプリケーションのテストには、Java Development Kit 1.6 以降が必要です。

ワークフローの改善

監視設定の新しいワークフロー

テストを実行する前に、Performance Explorer (Silk Performer サーバー監視ツール) がそのテストで使用するローカルおよびリモート サーバーをどのように監視するかを定義する必要があります。サーバーを監視すると、サーバーのボトルネックが明らかになり、その場所を特定して解決できるため、オペレーティング システムとアプリケーション サーバーのパフォーマンスを調べることができます。

Silk Performer ワークフロー バーの新しい **監視の設定** ボタンには、サーバー管理のための 3 つのオプションがあります。

- **デフォルトの監視** - このオプションは、テスト対象のアプリケーション タイプに基づいて、推奨されるデータソースのセットを監視するよう Performance Explorer に指示します。これは、Performance Explorer ワークスペースの **自動的に監視を開始する** と **デフォルト監視テンプレートを使用する** を有効にするのと同じです (**設定 > アクティブ プロファイル > 再生 > 監視 > デフォルト監視テンプレートを使用する**)。
- **カスタム監視** - このオプションでは Performance Explorer が監視モードで開き、**データソースウィザード - システムの選択** ダイアログ ボックスが表示され、手動でデータソースを設定できます。Performance Explorer 監視プロジェクト設定は、Silk Performer プロジェクト設定とともに保存されます。
- **監視なし** - このオプションを使用すると、ローカルまたはリモートサーバーを監視せずにテストを実行できます。このオプションでは、**自動的に監視を開始する** 設定が無効になります (**設定 > アクティブ プロファイル > 再生 > 監視 > デフォルト監視テンプレートを使用する**)。

クラウド エージェントを準備する新しいワークフロー

新しい **クラウド エージェントの準備** ダイアログ ボックスには、各クラウド エージェントで実行する仮想ユーザー数を定義するための直感的なコントロールがあります。 **エージェントの割り当て > クラウド エージェントを使用する** をクリックして、ダイアログ ボックスにアクセスします。

スライダーを右にスライドさせて、各クラウド エージェントで実行する仮想ユーザー数を選択します。スライダーに沿ったマーカーは、さまざまなタイプのアプリケーションをテストする場合にサポートされている通常の仮想ユーザー数を示しています。ただし、クラウド エージェントあたりの最大仮想ユーザー数は、アプリケーションに関係なく 1,000 となります。もちろん、テストシナリオで実際にサポートされる仮想ユーザー数は、特定のテストの複雑さとリソースの消費量により異なります。

ワークロード テキスト フィールドには、各ユーザー タイプ (**ワークフロー - ワークロードの設定** ダイアログ ボックスで定義されている) で定義されている最大仮想ユーザー数が示されます。 **地域ごとの割り当て** テーブルには、ユーザーの選択に基づく、すべての地理的な地域のエージェントの割り当て結果が示されます。たとえば、100 仮想ユーザーで 5 つの地理的な地域でエージェントあたり 20 の最大仮想ユーザー数を **ワークロード** で設定した場合は、それぞれの地域で 20 の仮想ユーザーが実行されます。エージェントあたりの仮想ユーザー数を増やすと、定められたワークロードをサポートするためにそれぞれの地理的な地域内で必要となるエージェント インスタンスの数が減少します。

セキュアな接続で記録するための新しいワークフロー

セキュアな接続でのアプリケーションの記録には証明書の設定が必要ですが、これはあまり簡単な作業ではありませんでした。この手順は、スクリプトを記録する一般的なワークフローに組み込まれるようになり、**スクリプトの作成** ウィザードでの作業中に簡単にヘルプを確認できるようになりました。セキュアな接続での記録が、簡単に直感的に行えるようになりました。

新しいワークフロー バー コンテキスト メニュー

Silk Performer ワークフロー バーでは、簡易ワークフロー バーと完全ワークフロー バーを簡単にすばやく切り替えて、テストの設定や実行を順番に行えるようになりました。

ワークフロー バーには、デフォルトで簡易ワークフローが表示されます。パフォーマンス ベースラインを作成してレスポンス時間のしきい値を設定する場合は、ワークフロー バーの右側にある **簡易ワークフロー** 領域を右クリックして **完全ワークフロー バーを表示する** を選択し、完全ワークフロー バーを有効にします。

カスタム コンテンツ タイプおよびエンコーディングの変換

デフォルトでは、HTTP ヘッダー Content-Type または Content-Encoding が以下の値に設定されている HTTP 要求と応答では、変換が有効になっています。

- Flex/AMF3 (Adobe、BlazeDS、GraniteDS) : Content-Type を "application/x-amf" に設定
- Java over HTTP : Content-Type を "application/octet-stream" または "application/x-java-serialized-object" に設定
- Microsoft Silverlight : Content-Type を "application/soap+msbin1" または "application/msbin1" に設定
- GZIP POST Data : Content-Encoding を gzip に設定

異なる HTTP コンテンツタイプまたはコンテンツのエンコーディング ヘッダーを使用してデータを変換する必要がある場合は、**追加パラメータ** フィールドの **設定 > アクティブ プロファイル > Web (プロトコルレベル) > 変換** で、プロトコル設定をカスタマイズできます。

正確なパーセンタイル計算

Silk Performer でより正確なパーセンタイルを計算できるようになりました。計算時に必要な精度を自分で指定できるオプションも利用できます。デフォルトの 1 % 精度により、多数のエージェント コンピュータによる大規模な負荷テストであっても、非常に詳細なチャートを概要レポートで使用できるようになりました。精度を高めるとより正確なパーセンタイル計算も可能ですが、各エージェント コンピュータのメモリがより多く消費されます。

BDL 関数 MeasureCalculatePercentiles は廃止されました。スクリプトでこの関数を使用する場合は、代わりに、デフォルトのパラメータを使用して新しい MeasureCalculateRawPercentiles 関数が内部で呼び出されます。

ユーザビリティ機能の強化

Silk Performer 全体にわたって、以下のようにユーザビリティ機能が強化されています。

すぐに使えるヘルプ

多くの Silk Performer ダイアログボックスが洗練および強化されており、以前より簡単で便利なヘルプをすぐに使えるようになりました。ダイアログのヘルプ リンクから、必要な情報を提供するヘルプにアクセスできます。

開始画面の強化

Silk Performer 開始画面が再設計されて、新しいカラー スキームと以下の新機能が追加されました。

- 入門ビデオへのリンク
- コミュニティ活動とブログ投稿のための組み込み RSS フィードへのアクセス
- 新機能ページの最下部のリンクを経由した機能の提案と、以前提案した機能への投票

Visual Studio .NET Add-On の UAC への準拠

Visual Studio .NET Add-On は UAC に完全に準拠しています。管理権限がなくても、アドオンを有効/無効にすることができるようになりました (Windows 7/Vista)。

製品の更新通知

Silk Performer では、新しい製品更新版がダウンロードできるようになると、開始画面で自動的に通知されます。表示されたリンクをクリックするだけで、最新の製品更新版にアクセスしてインストールできます。**ヘルプ > 更新の確認** メニューで、更新を手動で確認することもできます。

Java プロファイル設定の更新

Java プロファイルの設定 **全般** ページおよび **詳細** ページ (**設定 > アクティブ プロファイル > Java**) が更新されて、現在の Java 標準が反映されました。

バージョン 1.2 から **バージョン** コンボボックスが削除され、すべての Java バージョンが同じように動作するようになりました。

システム クラスパス テキスト ボックスが削除されました。

下位互換性のためだけの理由で、**システム クラスパスを使用する** チェック ボックスが **詳細** ページに移動しました。

System Configuration Manager におけるバージョン情報とビルド情報

Silk Performer エージェントに接続しているときに、インストールされている Silk Performer ソフトウェアのバージョンとビルド番号が System Configuration Manager に表示されるようになりました。

使用技術の更新

Microsoft Visual Studio 2012 および Microsoft .NET Framework 4.5 のサポート

Silk Performer Visual Studio .NET Add-On は、Microsoft Visual Studio 2010 に加え、Microsoft Visual Studio 2012 をサポートするようになりました。この更新と一緒に、Silk Performer と Silk Performer .NET Explorer では Microsoft .NET Framework 4.5 をサポートするようになりました。また、Microsoft .NET Framework バージョンをスクリプト再生に対して設定できるようになりました。

OpenSSL 1.0.1c のサポート

Silk Performer は Secure Sockets Layer (SSL v2/v3) と Transport Layer Security (TLS v1) プロトコル、さらには強力な汎用暗号化ライブラリーを実装するオープンソースのツールキットである、最新バージョンの OpenSSL をサポートしています。

強化されたエージェントの健全度管理測定値

応答性エージェントの健全度管理測定値は、アプリケーションの健全度の測定値とシステムの健全度の測定値の両方を考慮に入れることで、エージェント マシンの全体の健全度をより反映できるようになりました。実際に、応答性エージェントの健全度管理測定値には、アプリケーションの健全度の測定値とシステムの健全度の測定値の両方の「最悪の場合のシナリオ」結果が反映されます。この機能強化は、SAP クライアントの応答性とブラウザ駆動負荷テスト時の Internet Explorer の負荷レベルの測定の際に特に意味を持ちます。

JBoss 6 および 7 のサポート

Performance Explorer は、JMX を経由した JBoss 6 および 7 の監視をサポートするようになりました。

Silk Performer の既知の問題

ここでは、Silk Performer の既知の問題と該当する場合はその回避策について説明します。

Silk Performer に関する一般的な問題

Eclipse Plug-In が Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上で機能しない

問題：

Silk Performer Eclipse Plug-In は Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上で機能しません。

解決策：

Microsoft Windows 8 および Microsoft Windows Server 2012 上では、Eclipse を互換モードで実行します。互換モードで実行するには、以下の手順を実行します。

1. eclipse.exe を右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. **プロパティ** ダイアログ ボックスで、**互換性** タブをクリックします。
3. **互換モード** セクションで、**互換モードでこのプログラムを実行する:** をチェックし、Windows 7 を選択します。

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

問題：

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

解決策：

残念ながらこの問題の解決策はありません。Silk Performer では、光学式文字認識を行うのにサードパーティの DLL を使用しており、この DLL は ASCII 文字のみをサポートしています。

Silk Performer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法

問題：

Silk Performer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法を教えてください。

解決策：

Silk Performer では、GUI コントロールを右クリックして、**ヘルプ** を選択すると、GUI 機能に関する情報が表示されます。このコンテキスト ヘルプは Windows Vista で動作しません。これは既知の問題で、

Windows Help プログラム WinHlp32.exe が Windows Vista に搭載されていないことと関連しています。この問題を解決するには、32 ビット .hlp ファイル用のプログラムを Microsoft ダウンロード センターからダウンロードします。詳細については、<http://support.microsoft.com/kb/917607> を参照してください。

TrueLog Explorer の問題

アクセス中のウイルス スキャナ ソフトウェアにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがある

問題：

アクセス中のウイルス スキャナにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがあります。

解決策：

ウイルス スキャナ ソフトウェアは、TrueLog Explorer のクラッシュやパフォーマンスの劣化など、さまざまな問題が発生する可能性があります。負荷テストの間は、エージェント コンピュータおよびコントローラ コンピュータでウイルス スキャナ ソフトウェアを無効にすることを推奨します。

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に視覚的なスクリプトの変更に失敗する

問題：

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に、視覚的なスクリプトの変更に失敗します。

解決策：

BDH ファイルにトランザクションを移動しないでください。

Web の問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録が動作しない

問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録は動作しません。

解決策

スクリプトを記録する前に、すべてのブラウザ ウィンドウを閉じます。

すべての Opera バージョンで記録が動作しない

問題：

バージョン 8.0. 以降のすべての Opera バージョンで記録が動作しません。

解決策：

記録のために、古い Opera バージョンまたは他のブラウザを使用してください。再生は、この問題に影響されません。

解決済みの問題

以下の問題が、Silk Performer9.5 において修正されました。

問題番号	説明	メモ
RPI 1078750	System 5 - access denied エラー。リモートサーバーの監視の試行時発生するエラー。	更新されたドキュメントには、このエラーを回避するための手順が記載されます。
RPI 1082982	ユーザー アカウント制御 (UAC) がオンになっていると、評価用ライセンスが機能しません。	
RPI 1083232	Silk Performer Eclipse プラグインは、Windows 2008 R2 サーバープラットフォームではサポートされていません。	
RPI 1083497	特定の状況下では、負荷テストが永続的に実行され、停止したり、中止したり、強制終了したりできません。	
RPI 1083598	Silk Performer 関数が window.external プロパティにアクセスすると、それが原因で JavaScript エラーが発生する。	
RPI 1083743	Wait<Resource> ユーザーを通常の Wait ユーザーのように扱います。	BDL 関数 GlobalWaitFor、GlobalResourceEnter、GlobalResourceRelease、および WaitFor は、トランザクション ビジネス時間に影響を及ぼさなくなりました。
RPI 1083977	パラメータ ウィザードで、変数宣言のプレビューがウィンドウに表示されない。	
RPI 1084252	以前のバージョンが既に実行されていると、Silk Launcher Service が更新されない。	
RPI 1084328	英語以外を使用したコード ページシステムで UTF-8 文字を XML に変換すると問題が生じる。	
RPI 1085314	ThinkTime 関数に負の値が指定された場合は、警告またはエラーが報告されます。	
RPI 1085520	TrueLog Explorer で、HTML コンテンツが XML 書式で表示されます。	

更新と SupportLine

当 Web サイトでは、最新の問い合わせ電話番号および住所の詳細を提供しています。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマ サポートを受けることができます。弊社の熟練したスタッフが、可能な限り迅速に専門家としてお客様の質問にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine で必要な情報

Micro Focus SupportLine に連絡する際、可能な場合は以下の情報も提供してください。詳細な情報をご提供いただければ、Micro Focus SupportLine はより効果的なサポートが可能になります。

- 問題の原因と考えられるすべての製品の名前とバージョン番号。
- コンピュータのメーカーと機種。
- オペレーティング システム名とバージョン、プロセッサ、メモリの詳細などのシステム情報。
- 問題を再現する手順などの、問題の詳細な説明。
- 関係するエラー メッセージの正確な表現。
- シリアル番号。

これらの番号を見つけるには、Micro Focus から受信した Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文を参照してください。

Silk Performer のライセンス管理

このセクションでは、Silk Performer のライセンス ポリシーの取得方法と、SilkMeter のインストール方法について説明します。SilkMeter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。



注: Silk Performer には、SilkMeter バージョン 2008 以降と Silk Performer ライセンス ポリシーが必要となります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

Silk Performer ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。


ライセンス情報

Silk Performer 9.5 には、新たに 9.5 のライセンスが必要です。バージョン 9.5 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの Silk Performer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

テスト済みソフトウェア

このセクションでは、Silk Performer がテストされたソフトウェアの一覧を示します。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows XP 32 ビット サービス パック 3• Microsoft Windows XP 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 32 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 32 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Vista 32 ビット• Microsoft Windows Vista 64 ビット• Microsoft Windows Server 2008 32 ビット• Microsoft Windows Server 2008 64 ビット• Microsoft Windows Server 2008 R2• Microsoft Windows 7 32 ビット• Microsoft Windows 7 64 ビット• Microsoft Windows 8 32 ビット• Microsoft Windows 8 64 ビット• Microsoft Windows Server 2012
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Windows Internet Explorer 6.0、7.0、8.0、9.0、10• Mozilla Firefox 3.0 以降• Google Chrome• Apple Safari <p>ブラウザ駆動型負荷テストの場合：</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows Internet Explorer 7.0、8.0、9.0
SOAP サポート	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft SOAP Toolkit 2.0 サービス パック 2 (SP2)、Internet Information Server 5• Apache-SOAP バージョン 2.1、TOMCAT バージョン 3.1
Web サービス サポート	<ul style="list-style-type: none">• Axis 1.x• Axis2 1.4、1.5• GlassFish Metro 1.5
Java サポート	<ul style="list-style-type: none">• Java Runtime Environment 1.2.2: classic および hotspot 1.0• Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7

システム領域	テスト対象
.NET サポート	<ul style="list-style-type: none"> • IBM Java Development Kit 1.3 • Eclipse 3.2、3.3、3.4、3.5、3.6 • Microsoft .NET Framework 2.0、3.0、3.5、4.0、4.5 • Microsoft Visual Studio 2010 および 2012 • WCF Web サービス
リッチ インターネット アプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Silverlight 4、5 • Adobe Flex 2、3、4 • GraniteDS 2.3.2 • BlazeDS 3.2.0 • Google Web Toolkit • ExtJS 3 • Eclipse RAP • script.aculo.us
SNMP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPv2-MIB • RFC1213-MIB • RDBMS-MIB • ORADB-MIB • httpServer-MIB • ftpServer-MIB • SUN-MIB • BEA-WEBLOGIC-MIB • APPSRV_MIB (NetDynamics) • SQUID-MIB <p> 注: Web 上で RFC およびベンダーの MIB を検索するには、The Internet Engineering Task Force を参照してください。</p>
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシ サーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Proxy Server 2.0 • Netscape Proxy Server 3.5 (Netscape Proxy Server における不具合のため、HTTP トンネリングはサポートされていません) • WinGate 4.0.1 • Squid 2.3.STABLE4 (LINUX) • Squid 2.4 STABLE3 (LINUX) • Dante 1.1.6 (LINUX)
ソース コード管理インテグレーション (SCCI) サポート	<ul style="list-style-type: none"> • StarTeam (SCC インテグレーション パッチ付) 2005 R2、2006、2008 • Microsoft Visual SourceSafe 6.0c、6.0d、2005 • Merant Version Manager 8.0.2.0

サポートの終了

次のテクノロジーが廃止になり、このバージョンの Silk Performer ではサポートされていないことに注意してください。

- Microsoft Visual Studio 2008
- Microsoft .NET Framework 1.0 および 1.1